

宗門総合振興計画さまざまな取り組み



現在覚法寺に於きましても、宗派の「宗門総合振興計画」の事業に関しまして皆様方にご協力をお願いしているところです。

既に本山では達成に向けて様々な取り組みがなされております。その事業の一つとして最近では、東京の築地本



季刊

覚法寺

〒862-0956
熊本市中央区水前寺公園1-25
電話 (096) 383-4874
FAX (096) 383-3050
kakuhouji@eagle.ocn.ne.jp
http://www.facebook.com/kakuhouji

願寺に於いて、「次世代リीडーズサミット」がなされたばかりであります。ご門主様をはじめ国連事務局の方をお招きし、「SDGs(持続可能な開発目標)」をテーマに掲げましてサミットが開催されました。

「SDGs」の具体的内容は、「人や国の不平等をなくす、飢餓や貧困をなくす、気候変動に具体的な対策」など世界を変えるための17種の目標です。

国連が二〇三〇年までに達成する目標と掲げています。そこからご門主様は三つの提案をされたそうです。

①行事大会での記念品をフェアレードや矯正施設の品にする。

②昼間の無駄な照明電気を消していく。



サミットにてお言葉を述べられるご門主様



国宝飛雲閣が修復に入りました

③懇親会での食べ残しが起こらないように、少なく調整する。

以上三点の提案をされたそうです。食糧問題を考えましても「食べ残しが多い↓作る側は量を少なく準備する↓食べる側は少なくとも怒らない」という内容を語られたそうです。

また本願寺では、国宝の飛雲閣が工事に入り、須屋根掛けが終了しました。古来の修復法を伝承しながら修復するそうで、丸太木を使つての足場組立となりました。

ご本尊は本山から
お迎えしましょう

ご本尊について
お問い合わせ

参拝部
覚法寺
☎075(371)5181 まで
☎096(383)4874 まで

住職雑記

先日、水俣病展に行きました。水俣病はご存知のとおり公害病です。人間が引き起こした病気です。日本の高度経済成長のもと、見て見ぬふりをしたが為に対応が遅れ、取り返しのつかない事態になった事件です。▼印象的だったのは「何がそうさせたのか」という投げかけでした。仏教では原因を外に探すのではなく、人間の中にあるものを見抜くという事を重要視します。すると「欲望・自己中心性・エゴイズム」という言葉が浮かび、更に「我執・ヒューマニズム」という言葉も浮かびます。▼作家の石牟礼道子氏が、福島原発事故の発覚時に執筆した詩が、この水俣病展に展示されていました。その詩の最後の部分には「現世はいよいよ地獄とやいわん虚無とやいわんただ滅亡の世せまるを待つのみか、ここにおいてわれなお、地上にひらく一輪の花の力を念じて、合掌す」とありました。▼人は水俣病から六十年を過ぎた今なお、何も学んでいないような気がしてなりません。しかし、この度話題にしました「SDGs」はその解決に向けて、非常に良い機会だと思えます。

※今まで執筆されておりました「竹如雑記」は、執筆者の事情によりしばらく休筆致します。

ほうおんこう 報恩講



本堂にて法要



初日、住職さんが御俗姓を拝読されました。



今年もお斎がとても美味しかったと評判でした。



最終日、福岡教区遠賀組行満寺の仏教社年会の方たちが参拝されました。

昨年十一月二十三日、二十五日、報恩講法要がお勤めになりました。報恩講とは真実のみ教えをお示しくださった親鸞聖人に感謝し、阿弥陀さまのお救いをあらためて心に深く味わわせていただく、一年で、もつともたいせつなご法要です。「報恩講」という名称は、親鸞聖人のひ孫である本願寺第三代覚如上人が、親鸞聖人の三十三回忌にあわせて『報恩講私記』を著されたことに由来しています。

十年間に寄せて

おかげさまで、私はお寺から遠くないところに住んでいます。古稀が近づくころ、ふと彼岸の風に誘われ、お寺参りをはじめました。

先日、研修会に参加させていただいた時のご講師のお話は「人生に押し寄せてくるいろいろな事柄の多くは、四苦八苦を伴う。仏教では三世に亘つていのちは続き、過去でもがき続けたいのちは六道を流転し、さまたけ続けるために、人間に生まれることは非常に難しい。縁がなければ人間として生まれなかったいのちです」と聞かされました。

阿弥陀仏の「必ず救う、われにまかせよ」という願いが南無阿弥陀仏のお名号となつて、私に届いていない、都合によつては気付かない、そういう私ですが、いつでもどこでも阿弥陀仏の救いの中にあることに気づかされながら、他者をおもいつつ生きていきたいと思っています。

(入江 緑)

ぶらり旅日記

山登りをするにあたり、必要になるのが山頂までの道である。この道がわからず、むやみやたらに歩いても遭難するだけである。その肝心の山道は、有名な登山道なら既に多くの人が歩いており、一目でわかる。それを辿っていけば、登頂することができるのだ。だが、冬になると雪によって覆い隠されると雪により、一面が雪景色になつてしまふ。こうなると、道を見失つてしまふのだ。そんな時に効果を発揮するのが標識である。様々な形があり、木にテープや布が巻かれていた。木で作成した看板であったり、木でできた地へ導く者を目指す地へと導く。人生も登山に例えられるが、この行く道を示して下さっているのが、阿弥陀様の教えである。この教えに従うことによつて、例え何があつても迷信に惑わされずに日々の生活を送ることができるのである。

水上



設計施工総合建設業

一級建築士事務所



株式会社 竹内工務店

代表取締役会長 竹内 義雄
代表取締役社長 竹内 浩二

本社/熊本市東区尾ノ上4丁目20-11

TEL(096)365-3366(代)

FAX(096)369-0562

鹿児島営業所/鹿児島市五ヶ別町1734

TEL(099)265-9619

FAX(099)265-9619



創業60年

不動産の賃貸、売買、管理、相続、全て扱っています。

(株)国府不動産

代表取締役 小川 道雄

〒862-0949 熊本市中央区国府1丁目13-5 (国府電停前)

☎(096)364-6618



ある幼稚園の子供たちに、魚を描かせたら皿の中に魚の切り身を描いた子がいたという話があります。

最近、食物の命が見えない時代なのかもしれません。私達は食卓に上がるものが命であることを忘れがちです。魚や肉はもちろんのことお米や野菜もそうです。口に入るもの全てがそれぞれに命の姿を変えたものだと言えるのであります。今、日本は飽食の時代の子供達に（もったいない）という言葉を教えることは、大変難しい時代であります。

もったいないという言葉は元は感謝の言葉です。それは（無駄にしてはいけない）という意味と共に（こんな私に有り難う）という意味が込められた言葉であります。仏教は全ての生きものが同じように（尊い命）を持つてることを教えます。その命を頂いているのが私達、人間です。食事の前には、（いただきます）終わったら（ごちそうさま）私達の命を支える無数の命に感謝の気持ちを忘れたくないものです。

光寺

いただきます

お坊さんの一言

宗門総合振興計画「懇志進納状況」

宗派の「宗門総合振興計画」の事業には二百億円の資金を必要としており、そのうち覚法寺におきましては九三〇万円程の進納依頼が来ております。

本山からの依頼額九三〇万円の内、12月8日現在二七九件・五〇八万円の懇志をお預かり致しました。誠にありがとうございます。現在の達成率は54%です。

本山では二〇二三年(平成三十五年)頃を予定に、「親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年法要」が既に計画されております。

進納期限は二〇二〇年(平成三十二年)3月31日までとしておりますので、まだの方は今後どうぞ宜しくお願い申し上げます。

2017朝のお参りベスト10

(12月10日現在)

- 1 粟津美代子さん (334)
- 2 入江 緑さん (287)
- 3 榮田 恵子さん (229)
- 4 有田 勇さん (162)
- 5 園田 尚典さん (40)
- 6 川本 信隆さん (26)
- 7 田中 耕一さん (22)
- 8 酒井 澄子さん (17)
- 9 片田 さん (10)
- 9 森川 さん (10)

一〇〇日参りをしてみませんか？

ことしは四名の方が、一〇〇日以上のお参りでした。一つ大きな目標を立てて、朝からお参りください。

定例皆勤賞

覚法寺では毎月十日(一月と五月を除く)に定例法座を行っています。



12月10日の定例法座より。長州組の亀原渡海先生を迎えて。

別のお寺のお坊さんをお招きし、師匠に迎える機会を、あじわえる素晴らしい機会です。仏

教に興味のある方、悩みをかかえている方、どんな方でも結構です。これを機に是非お寺に足を向けてみませんか。



今年の定例法座皆勤、精勤の皆さん。

総参拝皆勤賞

定例法座皆勤賞

- | | |
|----------|---------|
| 粟津 美代子さん | 田中 耕一さん |
| 井上 登美子さん | 高田 誠治さん |
| 栗津 美代子さん | 深浦 茂さん |

にちじよう

どうぞお参りください

新しい年を迎えて数日が過ぎました。また一つ歳をとるということです。私たちは毎日、死に向かつて一歩一歩進んで行っているわけです。めでたくもあり、めでたくなくもあり・・・。私事ではありますが、昨年の夏の終わり、つい最近、私は姪と初顔合わせをしました。そこには家族全体で赤ちゃんを笑顔で囲む、温かい光景がありました。こんな場合はめでたくないとは思いません。年を重ねて自分の身体が思うようにならなくなるにつれ、だんだん年をとることが怖いと思ってしまう。しかしながら、「老いる＝衰える」ということではありませんね。あるご門徒さんとのお話の中で、「一年を重ねるにつれ、その年齢での様々な景色や心の変化を楽しむことができ、私は毎年楽しいです。」と言われた方がいらっしやいました。身体は弱くなっても、心は弱らず、衰えない。「わたし」も、こうありたいものです。(菅原)



毎月16日7時
お寺に参ろう。

(宗祖親鸞聖人の御命日)
門信徒総参拝

■熊本教区青年布教大会&第一支部布教大会
生きたって大変だ！念仏者の生き方！

【日時】

平成三十年一月三十一日(水)
午前九時三十分開会式

【場所】

本願寺熊本別院
熊本市中央区坪井二一三三三十二

出講講師

◇午前の部
十時～十二時

西本 祐寛 (八代市 照光寺)

甲斐 陽瑞 (城南町 雲晴寺)

盛 忍 (川尻町 浄行寺)

◇昼食

十二時～十三時

◇特設コーナーにて「仏教何でも相談」

◇午後の部
十三時～十五時二十分

亀原 涉海 (荒尾市 西養寺)

青木 崇信 (細工町 浄影寺)

黒田 宏信 (吉北町 覚円寺)

平成三十(2018)年の年忌表

一周忌	平成二十九年没
三回忌	平成二十八年没
七回忌	平成二十四年没
十三回忌	平成十八年没
十七回忌	平成十四年没
二十五回忌	平成六年没
三十三回忌	昭和六十一年没
五十回忌	昭和四十四年没



建築企画・設計・監理
有限会社

三島建築事務所

代表取締役 三嶋 統吾
一級建築士

〒862-0972 熊本市中央区渡鹿3丁目8番28号
TEL 096-366-5566

寺院仏具修復・納骨堂設計・施工
(宗教用具専門店) 仏壇・仏具・修復・修理



お仏壇の 令掌

〒860-0073 熊本市西区島崎5丁目4-37
(三軒屋バス亭前)

TEL FAX 096 (359) 7720